

令和 6 年度第 3 回南房総市地域公共交通活性化協議会

(兼地域公共交通会議) 議事要旨

日 時：令和 7 年 1 月 16 日（木） 15：28～16：00

場 所：南房総市役所別館 1 大会議室

参 加 者：委員 20 名（別添委員名簿参照、4 名欠席）

：南房総市 総務部長・企画財政課長・同課長補佐・同地域振興係長及び係員

議 事：

1. 【協議第 7 号】チョイソコまるやまの実証運行について

事務局より実証運行について、これまでの実績報告と実証運行の延長案について説明。

現在行っている実証運行は、チョイソコ南房総・館山の予約制乗合送迎サービスの仕組みを利用することで費用を抑えながら、路線バスの本数が少なく、タクシー事業者も撤退してしまった南房総市丸山地区において、買い物需要などに対応する移動手段の確保、鉄道駅や地域間幹線系統のバス路線に接続できるよう運行エリアを設定し、当該地域の新たな交通手段の検証を目的として行っている。

最初にこれまでの実績を報告。

チョイソコ南房総・館山の会員登録は、12 月末現在で 540 人、そのうち丸山地区の住所者は、89 人。令和 5 年 12 月の運行開始から 3 月までは、50 日間の運行で、48 人の利用。令和 6 年 4 月から 12 月までの 117 日間の運行で、262 人、1 日平均 2.24 人の利用実績だった。これらの結果では、地域センター、歯医者や駅からの利用など、定期利用が増えた様子がみられた。

なお、昨年 12 月から目的地乗降場所として、亀田総合病院、鴨川市国保病院、安房地域医療センターの 3 ヶ所を追加設定している。

続いて、実証期間延長を説明。

令和 5 年 12 月より実証運行を行ってきたが、当初の目標値 1 日平均 3 人には届かないが、期間の経過とともに令和 6 年度は 2.24 人のご利用になっている。先ほども申し上げたが、12 月より近隣市の医療機関への移動手段の確保を行っており、引き続き、検証が必要と感じている。そのため、令和 7 年 4 月 1 日から 1 年間の実証期間を設定することを提案。また、今回の延長にあわせ、降車場所の範囲について、一部変更する。現在、指定の降車場所限定としてが、自宅近くで降車できるよう丸山地区内は、指定の降車場所から次の運行ルートを逸脱しない範囲で、降車を認めるもので、フリー降車を導入する。この他の変更はない。

今後の利用状況、動向を分析するとともに、実証運行を継続していきたいので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願いしたい。

なお、本日の協議終了後は、運輸支局への届け出、広報活動を行っていく。

質疑等)

◎丸山地区の登録が 89 人、利用人数が 262 人とのことだが、実人数は、何人か。

⇒実人数は、13 人でした。

◎目標に達しなかったけども、12 月に変更しているので、4 月からの 1 年間、延長とのことだが、今回の目標人数と、本格運行などの継続判断は、いつごろとなるのか。

⇒これまで同様、目標は 3 人/日とする。また、12 月から変更したので、そこから 1 年間の利用状況を鑑み、来年度のこの時期に判断していく。

◎登録人数が 540 人となるが、登録を取り消す方はいるのか。また、2 市以外の登録者が 157 人いるが、

どのような方がいるのか。

⇒登録を取り消す方は確認できるが少ない現状。また、2市以外の方は、里帰り利用の方が多くいる。
そのほか、観光（登山ハイキング）の利用者も見受けられる。

⇒承認済み

2. **【協議第8号】市営路線バス路線バス（丸山線・北三原線）について**

事務局より市営路線バス丸山線の路線廃止、北三原線の一部のダイヤ変更等について説明を行う。

丸山線は、利用者が少ないことやスクールバスとしても利用が限定的で別途委託料が発生している。また、一般利用の代替としては、路線バス「丸線」「館山鴨川線」や実証運行中の「チョイソコまるやま」があることから廃止する。

一方、北三原線については、こちらも利用者が限定的であることから平日運行のみとし、スクールバスの利用についても丸山線と状況が同じことから、北原線では、新たに平日午後にスクール専用時間を設けることとする。また、既存施設の名称が変更となっていることから2ヵ所のバス停名称を変更する。（質疑等）

◎丸山線の今回の廃止に伴い、バス停は直ぐに撤去なのか。案内などどうするすのか。

⇒今後、案内を掲出するが、半年くらいはそのままとしたい。また、チョイソコまるやまで使用しているバス停もあるため、状況を判断しながら必要のない場所は、撤去していく。

⇒承認済み

3. **【報告第4号】南房総・館山地域公共交通活性化協議会について**

事務局より、南房総・館山地域公共交通活性化協議会についての報告。

1つ目、チョイソコ南房総・館山の今年度の実績についての報告。

令和5年10月より本格運行を開始して1年が経過したが、12月末現在の登録者数は、540人となった。年齢別には、60歳以上が70%となっており、高齢者の移動手段として登録いただいている。

次に利用実績は、今年4月から12月までの9ヶ月間で1,424人、平均は、7.7人とこれまでの実績と比較すると微増となっているが、当初の目標7人を超える形で今年度は推移している。利用時間帯や曜日別、予約の状況は資料のとおり。

次に乗降場所別利用者数では、イオンタウン館山や館山駅などの目的乗降場所が多く利用された。また、定額乗車券も利用あり、個別の乗降場所は、毎週ご利用の定期的なお客様がいらっしゃる結果となった。

一方で、会員登録はするものの利用したことがない方も多くいる現状のため、引き続き、周知活動を継続していく。

2つ目は、「南房総・館山地域公共ライドシェアの実証運行についての報告。

公共ライドシェアは、自治体などが実施主体となり、自家用有償旅客運送登録にて、個人の自家用車を活用して、公共交通の空白時間帯などを補完する形態をとり、このほど実証運行に取り組んでいくもの。

今回の南房総・館山地域公共ライドシェアは、南房総・館山地域公共交通活性化協議会が主体となり、地元タクシー事業者の鏡浦自動車様と運行管理を専門に取り扱っている日野自動車様の協力で、実証運行を行っていく。主な概要としては、運行エリアは、南房総市及び館山市を発着のいずれかを必須とし、鴨川市、鋸南町を含む安房地域がエリアとなる。運行時間帯は、夜の20時から翌朝7時までとし、ドライバーの配置状況により時間が短縮となる場合もある。運賃は、タクシー運賃相当額とし、深夜割増や迎車料金は、加算しない。予約方法は、専用アプリを構築し、運賃事前確定制によるクレジットカード払いとし、当日の現金収受はしない。今後、ドライバー募集や、自家用有償旅客運送の登録などを行

っていく予定。なお、15 ページ上部の表にあります、JR 東日本との連携では、12 月の国の会議でも事例発表をされている、運転手の協力について申し出をいただいております、今年度において当協議会とも連携を行っていく予定。

質疑等)

◎今回の実証運行に関する予算額が掲載されているが、協議会の予算状況はどうなっているのか。

⇒今年度は、当初の計画で「深夜帯の移動手段の確保事業」を予定していたが、内容変更で当該事業を実施し、チョイソコとよふさの実証運行が取り止めとなったことによる配分変更、千葉県補助事業による収入により確保している。また、来年度は、必要経費を 2 市に対し、負担金要望をしている。

⇒承認済み

3. その他

ジェイアールバス関東㈱より、運賃改正を令和 7 年 4 月 1 日に予定しており、20 円～70 円程度の値上げとなる。また、交通系 IC カード決済の機器も 4 月より導入予定との説明があった。

このほか、事務局より、報酬のお知らせと次回は令和 7 年度に入ってから開催予定について事務連絡があった。

16 : 00 終了

南房総市地域交通活性化協議会（兼地域交通交通会議）委員名簿

	氏名	出欠	代理出席	随行	役職名
1	しまだ まもる 嶋田 守	○			南房総市副市長
2	タカハシ ナオト 高橋 直人	×			関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官
3	コバヤシ サトシ 小林 聡	○			関東運輸局千葉運輸支局 首席運輸企画専門官
4	イトウ マサオ 伊藤 昌央	○			千葉県総合企画部交通計画課 地域公共交通担当課長
5	とうえ てつろう 東江 哲郎	×			千葉県土整備部道路計画課 副課長
6	オダキ ヒデユキ 小瀧 英之	○			安房土木事務所 管理課長
7	タナカ アキミツ 田中 昭光	×			安房土木事務所 調整課長
8	サイトウ ヨシノリ 齊藤 佳則	○			館山警察署 交通課長
9	なりた ひとし 成田 斉	○			一般社団法人千葉県バス協会 専務理事
10	たかはし はるき 高橋 晴樹	○			日東交通株式会社 運輸部長
11	なかがわ ゆきお 中川 行雄	○			ジェイアールバス関東株式会社 館山支店長
12	もり つとむ 森 勉	×			ちばシティバス株式会社 代表取締役社長
13	しろた のりとき 代田 憲隆	○		1名	千葉県タクシー協会理事(白浜タクシー代表)
14	ほんま ゆうじ 本間 裕二	○	川名 隆文		南房タクシー株式会社 代表取締役
15	たがみ しげみつ 田上 重光	○		2名	東日本旅客鉄道株式会社 館山駅長
16	すずき けんじ 鈴木 賢二	○			安房道の駅連絡会会長
17	10/1～ おざわ としお 小澤 利男	○			日東交通労働組合 安房支部代表
18	オキムラ ナオミ 沖村 尚美	○			富浦地区住民・利用者代表
19	カワナ アツヨ 川名 淳代	○			富山地区住民・利用者代表
20	アオキ フミオ 青木 文男	○			三芳地区住民・利用者代表
21	ヨシダ ユキオ 吉田 幸夫	○			千倉地区住民・利用者代表
22	もとはし せいいち 本橋 清一	○			白浜地区住民・利用者代表
23	よしの いげる 吉野 茂	○			丸山地区住民・利用者代表
24					和田地区住民・利用者代表
25	クロカワ ダイジロウ 黒川 大治郎	○			館山市総合政策部企画課長